

	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-55℃～85℃(注1)			保存温度範囲		-10℃～60℃(注2)			
	電圧		AC 50 V			使用湿度範囲		相対湿度 95%以下 (ただし、結露しないこと。)			
	電流		0.3 A								
性能											
	項目	試験方法				規格				QT	AT
構造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○
	表示	目視にて確認する。								○	○
電気的 性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。				60 mΩ以下				○	—
	絶縁抵抗	DC 100 V で測定する。				100 MΩ以上				○	—
	耐電圧	AC 150 V の電圧を 1 分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○
機械的 性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。				差込力 100.8 N 以下 引抜力 4.2 N 以上				○	—
	繰返し動作	50 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 方向各 10 サイクル試験する。				① 1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。								○	—
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95% 中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上				○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→2～3→30→2～3 分 を 5 サイクル試験する。				③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐熱性	温度 85℃ 中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下				○	—
	耐寒性	温度 -55℃ 中に 96 時間放置する。				② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水、48 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下				○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 0090)				② はなはだしい腐食がないこと。				○	—
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX 250℃ 220℃以上 60秒以内 はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内				外觀の変形及び端子などに著しいガタがないこと				○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。				はんだ浸せき面の 95% 以上が 新しいはんだで濡れていること。				○	—
備考						製図	担当	検図	承認	出図	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。											
試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402 を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 FX10B-168P-SV1 (71)					
旧CL CL		図番 SLC4-151975-25		製品コード CL570-0154-6-71		1 1					